

★安全・安心な生活と ICT 研究会 (ICTSSL)

専門委員長 行田弘一 副委員長 井ノ口宗成・和田友孝

幹事 遠藤邦夫・新 浩一 幹事補佐 横山俊一

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 石田賢治 副委員長 波戸邦夫

幹事 谷口展郎・星野文学・渡部康平・城 哲

日時 10月21日(木) 9:00~11:40

22日(金) 9:00~11:40

会場 岐阜大学工学部 111 番教室 (〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1. <https://www.gifu-u.ac.jp/access/>)

議題 通信システム, 一般

21日 ICTSSL1-1 (9:00~10:40)

ICTSSL-1. 充電待ち時間と施設滞在時間に関する情報提供による電気自動車のながら充電の性能改善

○中澤碧水(新潟大)・宮北和之(新潟国際情報大)・中野敬介(新潟大)

ICTSSL-2. 特殊詐欺電話撃退電話アダプタの開発 ○石川晴基・波多浩昭(福井高専)

ICTSSL-3. IoT 環境における, 符号化・復号化に関わるコンポーネントを分離させた暗号通信方式の提案と評価

○鈴木零大(新潟大)・林 隆史(日大)・中野敬介(新潟大)

ICTSSL-4. 新型コロナウイルスワクチンに関するツイートの分析 ○宇津圭祐・内田 理(東海大)

IN 招待講演 (10:50~11:40)

IN-5. [招待講演] 仮説検証型アジャイル開発による香川大学の DX 化推進

○八重樫理人・山田 哲・浅木森浩樹・國枝孝之・後藤田 中・米谷雄介・末廣紀史・武田啓之(香川大)

22日 ICTSSL2-1 (9:00~10:40)

ICTSSL-1. ウェブレット変換による複数の 920 MHz 帯無線端末を用いた屋内在室不在判定手法の一検討

○堀田禎之介・小林 真・新 浩一・西 正博(広島市大)

ICTSSL-2. LPWA 通信網を活用した有害鳥獣捕獲作業支援システムの開発

○熊谷颯太・能阿弥佑衣・千葉慎二(仙台高専)

ICTSSL-3. Sub-GHz 無線による船舶基地局を用いた離島向け安否確認システムの基礎通信実験—商船系学校の練習船

活用に向けた取り組み— ○浅川貴史・前畑航平(大島商船高専)

ICTSSL-4. 感情分析に基づく twitter の分類・可視化システムの検討—簡易システムとしてのツイパスの構築—

○宮崎太良・井ノ口宗成(富山大)

ICTSSL2-2 (10:50~11:40)

ICTSSL-5. 深層学習におけるネットワーク及び画像前処理の違いによる定点観測画像からの土砂災害危険度分類精度

の評価 ○徳本敬祐・小林 真・新 浩一・西 正博(広島市大)

ICTSSL-6. [記念講演] 社会的期待発見研究に寄与する ICT の設計開発 井ノ口宗成(富山大)

IN 1 (10:50~11:40)

IN-7. ネットワークコーディングを適用した双方向無線マルチホップ配送のための経路検出率改善手法

○安部茜里・松垣博章(東京電機大)

IN-8. 隣接送受信無線ノードと競合する受信無線ノードへのデータメッセージ転送機会を補償する受信無線ノード主

導型 RTS/CTS 制御手法 ○原 桃香・松垣博章(東京電機大)

◆電気学会; スマートファシリティ研究会連催

☆ICTSSL 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2022 年 1 月 20 日(木), 21 日(金) (予定) 機械振興会館 (予定) [11 月 12 日(金)] テーマ: 学生セッション,
一般

【問合先】

遠藤邦夫

TEL [080] 9668-5738

E-mail: kuend@synspective.com

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12 月 16 日(木), 17 日(金) 広島(調整中) [未定] テーマ: 性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スルー
プットやトラヒックの計測, 品質(QoS) 制御, 輻輳制御, トラヒック・フロー制御, オーバーレイネットワー
ク・P2P, IPv6, マルチキャスト, ルーティング, DDoS 及び一般

※本研究会の 2 日目は情報指向ネットワーク技術特別研究会(ICN)とも併催です。

2022 年 1 月 17 日(月), 18 日(火) (予定) 愛知県産業労働センター [未定] テーマ: コンテンツ配信/流通,

ソーシャルネットワーク (SNS), データ分析・処理基盤, ビッグデータ及び一般

【問合せ先】

IN 研究会幹事

谷口展郎 (NTT)・星野文学 (長崎県立大)

E-mail : in_ac-secretariat@mail.ieice.org

◎IN 研究会 Web ページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり, 原稿無しでの御発表となります. プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい.